

私学助成署名推進ニュース

全国私学助成をすすめる会(事務局:全国私立学校教職員組合連合)
No.65 2026年2月27日(金)

予算審議スタート

紹介議員獲得の動きを強めよう!!

私学の実態を説明すると自民党はじめ与党議員も「紹介議員」を応諾して下さいます

2025年度 私学助成全国署名紹介議員一覧										2026.2.27 10:30 現在		敬称略
紹介議員数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	昨年度	昨年度
北海道	0										7	7
青森	0										7	7
秋田	0										0	0
岩手	0										4	4
山形	0										5	5
宮城	0										5	5
福島	0										2	2
栃木	1	塩川鉄也(共)									1	1
茨城	5	葉梨康弘(自)	浅野哲(国)	加藤明良(自)	上月良祐(自)	堂込麻紀子(国)					10	10
群馬	0										0	0
埼玉	0										6	6
千葉	0										7	7
東京	0										11	11
神奈川	0										13	13
長野	0										8	8
静岡	0										0	0
新潟	0										6	6
富山	0										0	0
石川	1	近藤和也(中)									1	1
福井	1	滝波宏文(自)									2	2
愛知	0										27	27
岐阜	0										3	3
滋賀	0										6	6
京都	0										7	7
大阪	13	宗清皇一(自)	中山泰秀(自)	青柳仁士(維)	池下卓(維)	萩原佳(維)	辰巳孝太郎(共)	辻元清美(立)	大門美紀史(共)	ラサール石井(社)	14	14
奈良	0							前 森山浩行(中)	前 大石あきこ(れ)	前 八幡 愛(れ)	1	1
兵庫	0										3	3
岡山	0										3	3
鳥根	0										0	0
広島	0										10	10
山口	0										1	1
香川	7	大野敬太郎(自)	平井卓也(自)	玉木雄一郎(国)	磯崎仁彦(自)	木村義雄(自)	原田大二郎(公)	原田秀一(国)	白川容子(共)		8	8
愛媛	0										1	1
高知	4	中谷元(自)	中西 祐介(自)	梶原 大輔(自)	広田 一(自)						1	1
福岡	3	許斐亮太郎(国)	古賀之土(立)	大島九州男(れ)							12	12
佐賀	0										4	4
長崎	0										1	1
大分	0										1	1
熊本	0										2	2
宮崎	0										0	0
鹿児島	0										0	0
のべ	35										200	200

() は衆議院
() は参議院
(()), () は重複
※ 政党名については2026年1月時点での党名で記載させていただいています。

2025年度	衆議院	参議院	合計
自民	5	9	14
中道	2	0	2
立憲	0	2	2
公明	0	1	1
日本維新	3	0	3
国民	3	2	5
参政	0	0	0
みらい	0	0	0
共産	2	2	4
社民	0	1	1
れいわ新選組	2	1	3
沖縄の風	0	0	0
日本保守	0	0	0
無所属	1	0	1
計	18	18	36

政党数+無 数計 10

2024年度	衆議院	参議院	合計
自民	26	9	35
立憲	72	20	92
公明	2	5	7
共産	8	11	19
日本維新	4	1	5
国民	10	2	12
社民	0	2	2
有志の会	2	0	2
れいわ新選組	4	2	6
NHK	0	1	1
沖縄の風	0	0	0
教育無償化	1	0	1
無所属	2	4	6
計	131	57	188

政党数+無 数計 11

「高校授業料無償化」だけではカバーできない事
・学費滞納の生徒がまだまだ存在する事
・施設設備費・入学金の問題

説明しなければ、「高校無償化」が実現した、と議員は誤解したままになる

2.18院内集会から10日が経過し、国会では代表質問を経て予算審議がはじまりました。

左は2月27日時点の紹介議員応諾議員一覧です。

突然の総選挙で応諾をくださった衆議院議員が落選してしまった、という例も多数あります(破線囲みは前議員さん。12月中に提出してくださった議員です)。

新たな議員が増えました。新しい議員は、私学の学費負担の実態はもとより、就学支援金制度を詳しく知りません。一方で、ていねいに説明すると紹介議員を応諾して下さります。

経常費助成の拡充も今後の運動において重点になっていきます。この先、私学の職場実態を伝えていくうえでも、議員さんとの関係を構築していくことが重要になっていきます。

できるだけ父母の同行も追求しつつ、紹介議員の応諾をとるための要請行動を強めていきましょう。

この間香川からは、2/25、2/27と応諾の連絡が届いています。県独自助成が薄い県では、私学のことを知る議員を増やすとりくみとしても位置づけ議員要請を強めましょう!

3月末を目印に、日程をくんで国会議員要請を実施しよう

東京では、衆議院の解散総選挙が日程化されたところで、新たな衆議院議員を中心に紹介議員獲得の国会議員要請の日程を入れます。会議を設定し父母懇役員、教員とともに行動する予定だそうです。開会されている国会において「請願」の審議は開会期間の後半になります。5月中旬あたりまでは、請願提出は間に合います。3月末は年度の区切りということで節目の目印にして、次年度の運動に向けても、国会議員との関係を築いていくために、この一覧表を埋めていく動きを全国で展開しましょう。